



山野 茂

リカレントコース一期生（2005～2008）

2014年3月 博士号取得

勤務先：大阪府立枚方高等学校 教諭

研究対象：アフリカ系アメリカ文学

所属学会：日本アメリカ文学会、黒人研究会、新英米文学
研究会

◆メッセージ

私にとって「リカレントコース」は新たな出会いの場でした。大学卒業後も高校の教員をしながら「黒人文学」の研究を一人で細々と続けていましたが、リカレントでの専門講座「アメリカ現代文学研究」では、若い学生たちの「脱構築」論、「ポストモダン」論に基づく議論が難解で自分が「浦島太郎」であるような気分になりました。しかし、そこでの議論はその後の研究に役に立つ新しい視点を与えてくれました。必修科目である「英語特別演習」の一つは学生5人のクラスで、オールイングリッシュ、毎回エッセイを提出し、司会の番が回ってくると長めのエッセイを事前に提出、厳しいチェックを受けた後再提出するという丁寧な指導を受けました。その経験は高校生にスピーチ指導をする際にも大いに役に立ちました。長期休暇中の集中講座では「アイヌ語」「東・南アフリカ諸語」「現代ジャーナリズム論」等大変刺激的な授業を受講しました。リカレント終了後博士後期課程に進学し、57歳にして博士号を取得できたのも、言語文化研究科の先生方のご助言、励ましと若い研究生たちの協力があったからだと感じています。大阪大学「リカレントコース」は年齢に関係なく新たな「出会い」、新たな人生の「挑戦」の場になると思います。